

平成 30 年度

「ハイパースムーズ東京」推進会議

議事録

日時 平成 30 年 4 月 23 日（月） 午前 10 時 30 分から午前 11 時まで

場所 都庁第一本庁舎北塔 42 階 特別会議室 B

1 開会

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

定刻となりましたので、平成30年度ハイパースムーズ東京推進会議を開会いたします。司会を務めさせていただきます、青少年・治安対策本部治安対策担当部長、高野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、警視庁、国土交通省東京国道事務所及び東京都の関係する皆様にお集まりいただきました。皆様お一人お一人紹介すべきところがございますが、お手元に配付の委員名簿、席次表にかえさせていただきますと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは開会に当たりまして、推進会議の会長でございます、青少年・治安対策本部大澤本部長からご挨拶を申し上げます。

○青少年・治安対策本部 大澤本部長

本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。青少年・治安対策本部の大澤でございます。

本日は、「ハイパースムーズ東京」ということでお集まりいただきましたけれども、渋滞関連で申しますと、先日オリンピックの組織委員会から、大会関係者の輸送ルート案が発表されたのは皆さん記憶に新しいところかと思えます。オリンピックを2年後に控えまして、都内の渋滞対策は喫緊の課題となっております。ご承知のように渋滞解消のためには、道路そのものの新設・拡幅が非常に大きな効果を持っているわけですが、こうしたハード面に加えまして、信号制御あるいは各種の情報提供等によるソフト面の対策も並んで重要でございます。「2020年に向けた実行プラン」におきましても、「渋滞対策などの交通円滑化」として、実施項目に掲げているところでございます。

本日お集まりいただきました皆様のご支援、ご協力をいただきながら、都内の渋滞対策事業に取り組んでおりますけれども、「ハイパースムーズ東京」では、平成27年度までの「ハイパースムーズ作戦」を引き継ぎまして、平成28年度から5年間で100箇所の交差点に対策を講じる予定で実施しております。

本日は、平成29年度の事業実績、あるいは30年度の事業計画などについてご議論をいただくこととしております。それぞれの立場から、忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

ありがとうございました。大変申し訳ございませんが、所用により、本部長はここで退席をさせていただきますと思います。

本日の会議でございますが、公開にて行わせていただいております。また、議事録につきましても、後日東京都のホームページで公表させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議題に入らせていただきます。

議題(1)平成29年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。

2 議題

(1) 平成29年度事業実績

○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

青少年・治安対策本部渋滞対策担当課長、大杉と申します。

まず事業報告に当たりまして、お手元に第1回推進会議で決定した、「ハイパースムーズ東京」という資料をお配りしてございます。あわせて参照していただければと思います。

「ハイパースムーズ東京」事業は、平成20年度から平成27年度まで実施いたしました、「ハイパースムーズ作戦」の実績を踏まえ、ITS技術等を活用した即効性のある渋滞対策として、平成28年度から平成32年度の5か年計画で実施する事業でございます。

旧事業との違いとしましては、対策を実施する交差点は、首都圏渋滞ボトルネック対策協議会が選定したボトルネック交差点であること、事業対象が多摩地域に拡大されていること、プローブ情報を積極的に活用していくことなどがございます。

対策の具体的な内容は2ページに記載しております。こちらの対策は、本日ご出席いただきました各機関の皆様と連携して実施しているものでございますが、本日は事務局よりまとめて説明させていただきます。

それでは平成29年度の事業実績について説明させていただきます。

資料1をご覧ください。

国土交通省東京国道事務所実施事業でございます。

甲州街道笹塚交差点の交差点改良事業といたしまして、交差点のコンパクト化を実施したほか、交差点手前へのカラー舗装とドット柄の減速路面表示を実施いたしました。

続きまして、警視庁実施事業でございます。

1点目は、信号制御の高度化・最適化の取組でございます。

手法といたしましては、車両感知器で交差点に到達する車の量を把握又は予測して青時間等を制御するリアルタイム信号制御及び需要予測信号制御、また、右折する車の量を把握して右折信号の青時間を調整する右折感応制御がございます。

リアルタイム信号制御を、小金井街道では松山三丁目交差点に、新小金井街道では滝山団地中央交差点ほか1箇所に、需要予測信号制御を、小金井街道では前沢交差点ほか2箇所に、新小金井街道では滝山南交差点に導入いたしました。

右折感応制御は、玉川上水駅北交差点ほか2箇所に導入いたしました。

2点目、交通情報板の整備でございます。

交通情報板は、道路利用者に対して渋滞、旅行時間、交通規制等の交通情報を提供して、交通の分散・誘導を行っているものでございます。こちらを環状七号線足立区西加平ほか1箇所に設置いたしました。

続きまして、都市整備局実施事業でございます。

1点目は、客待ちタクシー待機列解消対策でございます。

客待ちタクシーの多い亀戸駅前、銀座の交詢社通りについての調査を行うほか、新たな対策手法についての調査を委託により実施いたしました。また、亀戸駅前対策については、課題について関係者による協議を行いました。対策としては大規模な改修工事が必要となり、着手まで時間が必要であることから、調査の結果を江東区に引き継ぎ、今後は区が主体となって対策を行うことといたしました。

銀座のショットガンシステムにつきましては、客待ちタクシーの待機場所を設け、乗り場と待機場所間でETC機器により情報をやりとりするものでございまして、導入時から都もかかわってまいりましたが、引き続き運用を支援いたしました。

2点目は、路上荷捌き対策でございます。

既存コインパーキングを活用し、荷捌きスペースの確保を行いました。荷捌きスペースが確保されている駐車場は、29年度末現在で約750箇所となっております。

3点目は、バス交通の利用促進でございます。

平成28年度に、空港直行バスにPTPS、公共車両優先システムを導入した渋谷・池袋地区の導入効果の検証等を実施いたしました。

続きまして、建設局実施事業でございます。

1点目としまして、靖国通りの新宿五丁目交差点は、駐車場により交通容量の低下が見られることから、赤系の舗装や駐停車禁止区域を示す看板の設置を行ってきたところでございますが、昨年度はこの看板の表示の取替を実施いたしました。

2点目としまして、明治通りの田端新町一丁目交差点は、五差路という複雑な形状で、車線幅も狭い交差点であることから、スムーズな速度抑制を流す減速マークを設置いたしました。

3点目、鎌倉街道多摩東公園交差点におきましては、府中方面に向かう左折レーンを延伸し、延伸した先にある隣接する交差点の右折レーンを短縮するなど、車線構成の見直しを行いました。

続きまして、青少年・治安対策本部実施事業でございます。

1点目は、交差点現況調査でございます。

平成30年度以降に対策実施予定の主要渋滞交差点32箇所について、現況調査を実施いたしました。

2点目は、プローブ情報の活用でございます。

プローブ情報を分析し、対策箇所の選定に活用するとともに、効果検証の方法について検討いたしました。

3点目は、広報普及啓発でございます。

ハイパースムーズ東京のロゴマークを作成し、ポスター・リーフレットを作成するほか、交通量が増える12月や3月を中心に、ラジオCMや街頭の大型ビジョン等によるアニメーション動画の放映などを行いました。

また、エコドライブと渋滞対策の普及啓発に重なる点もあることから、環境局の関連するイベントと連携するなど、各種イベントと連携した普及啓発なども行いました。

続きまして、資料2をご覧ください。

以上ご説明した事業により、平成29年度に対策を行った箇所一覧でございます。

ハイパースムーズ東京では、首都圏渋滞ボトルネック対策協議会が選定した433箇所のうちの、道路整備の予定のある箇所を除く292箇所の中から対策効果が見込まれる箇所を各局で検討・抽出し、5年間で100箇所に対策を講じることとしております。

記載のとおり、29年度に対策を行った箇所につきましては、直接対策を実施したボトルネック交差点が10箇所、寄与箇所と記載してございますけれども、事業により改善効果が見込まれるボトルネック交差点が26箇所、合計36箇所でございます。

また、平成28年度からの進捗状況を記載してございますが、平成28年度は22箇所に対策を実施しております。新宿五丁目交差点は、28年度に交通情報板、また29年度には駐車禁止看板ということで、重複して対策を実施しておりますので、それらを考慮いたしますと、2年度で対策実施箇所57箇所となっております。

事業実績につきましては以上でございます。

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問などございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

それでは、引き続き議題(2)平成30年度事業計画につきまして、事務局から説明をお願いします。

(2) 平成30年度事業計画

○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

平成30年度事業計画について説明いたします。資料3をご覧ください。

まず、国土交通省東京国道事務所実施事業でございます。

水戸街道金町三丁目交差点につきましては、直近に京成金町線踏切が所在することから、交差点のコンパクト化とあわせまして、カラー舗装、減速路面表示を実施する予定でございます。また、湾岸道路辰巳交差点につきましては、車線数の見直しを行い、あわせてカラー舗装、減速路面表示を実施する予定でございます。春日通り国道254号池袋六ツ又陸橋交差点につきましては、複雑な六差路の交差点となっていることから、区画線等の見直しを行いまして、交差点内表示の明確化を図る予定でございます。

続きまして、警視庁実施事業でございます。

1点目、信号制御の高度化・最適化につきましては、甲州街道では、小金井街道入口ほか1箇所に需要予測信号制御、府中寿町一丁目交差点にリアルタイム信号制御、町田街道東浅川交差点にリアルタイム信号制御と需要予測信号制御を導入する計画でございます。また、右折感應制御を、甲州街道町田街道入口交差点はじめ8箇所に導入する予定でございます。

2点目は交通情報板の整備でございます。

中山道、環七、小金井街道の3ルート、3箇所に情報板を設置いたします。

続きまして、都市整備局実施事業でございます。

1点目、客待ちタクシー待機列解消対策といたしましては、交詢社通りの対策として、調査を行うとともに、タクシーの待機場所の確保などについて、関係者間による具体的な対策の検討を進める予定でございます。また、銀座のショットガンシステムにつきましては、昨年度に引き続き運用支援を行っていく予定でございます。

2点目、路上荷捌き対策といたしましては、昨年度と同様、荷捌きスペースの確保を行ってまいります。なお、空港直行バスにつきましては、予定の路線へのPTPS導入が平成28年度で終了いたしましたので、平成30年度につきましてはPTPSに係る事業はございません。

続きまして、建設局実施事業でございます。

2箇所の道路改良を計画してございます。

1点目、環状3号線六本木六丁目交差点では、首都高高架下の相互通行がわかりにくいいため、戸惑うような走行が見られまして、速度低下の一因になっていることから、一方向への通行とする車線構成の見直しを行います。

2点目、川の手通り千住曙町交差点につきましては、通勤時間帯に川の手通りを直進する車と、北千住方面に右折する車が多く、互いに走行を阻害しているため、右折車線の延伸を行います。

続きまして、青少年・治安対策本部実施事業でございます。

1点目は、交差点現況調査でございます。今年度は平成31年度以降実施候補箇所34箇所の現況調査を行う予定でございます。

2点目は、プローブ情報の活用でございます。引き続き、プローブ情報を活用した対策箇所の検証方法などを検討してまいります。

3点目は、広報普及啓発でございます。今年度は、12月と3月を普及啓発強化月間と位置づけまして、ラジオCM、大型ビジョンを活用した広報を実施するほか、昨年度に続きまして、交通安全キャンペーンなどと連携したイベントなどを行っていく予定でございます。

続きまして、資料4をご覧ください。

平成30年度のボトルネック交差点対策予定箇所でございます。

ご説明した事業計画に基づきますと、対策をボトルネック交差点に直接実施する箇所が12箇所、対策実施の効果が見込まれる寄与箇所が34箇所でございますが、対策が重複する箇所がございますので、除きますと計43箇所となっております。

先ほどご説明いたしました29年度までの実績とあわせまして、年度間の重複を除きますと、81箇所に対策が実施される見込みでございます。

説明につきましては以上でございます。

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問などございますでしょうか。

それでは、ただいま説明のありました平成30年度の事業計画に基づきまして、ハイパースムーズ東京といたしまして、事業を実施するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

それでは、皆様方と連携をいたしまして、事業を進めていくことといたしたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

次に議題(3)平成30年度予算につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(3) 平成30年度予算

○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

以上ご説明いたしました事業計画に基づく予算額は、青少年・治安対策本部が実施するITS等を活用した交通の円滑化と安全の促進に係る事業費は3,174万円、警視庁が実施するITS等を活用した交通の円滑化と安全の促進に係る事業費は1億2,226万円、都市整備局が実施する荷捌き・客待ちタクシー対策等に係る事業費が1,128万円、建設局が実施する道路施設の改善に係る事業費は2,330万円、青少年・治安対策本部が実施する普及啓発に係る事業費は2,146万円となっておりまして、合計2億1,006万円となっております。

以上でございます。

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問などございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

それでは次に、議題(4)報告事項について、事務局から説明をお願いいたします。

(4) 報告事項

○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

ハイパススムーズ東京では、新規施策として広域交通情報板について検討するとされておりますので、これまでの検討状況についてご報告をさせていただきます。

ここで広域交通情報板とは何かということですが、これまで交通情報板では主に2ルートまでの渋滞区間・所要時間を表示して交通量の分散を図ってございましたが、それ以上の広域的な情報を提供するものと考えております。

これまで、平成28年度にWebアンケート、平成29年度に視認性確認の実験を行いましたので、ご報告をさせていただきます。

まず、平成28年度のWebアンケートでございますが、こちらで交通情報板の必要性について聞きましたところ、約83%の方から「必要」との回答をいただきました。特に貨物車の運転者の方からは86%ということで、割合が高い結果でした。そこで検討するに当たりまして、貨物車が多いと思われる湾岸エリアで候補地を探しましたところ、平成30年に湾岸道路東行きが開通する予定でございます、これまでの2ルートから3ルートが選択肢となる、大田区にあります「京浜島南」の情報板を導入・検討の候補とするのがいいのではないかとということで、こちらを中心に検討してきたところでございます。

先ほどのWebアンケートでも、「渋滞の区間と所要時間を表示してほしい」という意見がありましたので、この3ルートの情報を既存の板で表示するというところで検討いたしましたが、この情報板も提供できる情報が限られておりますので、より多くの情報を提供するために渋滞の区間と時間を交互に表示する「交互表示」という手法を検討いたしました。

3月19日には、信号を所管する警視庁交通規制課、交通管制課の担当者と事務局で、距離や情報の切り替え時間を変えながら視認性の確認の実験を行ったところでございます。

当日は参加者にアンケートをとりましたところ、「交互表示の表示内容は見やすいか」という問いに対しましては、「見やすい」が60%、「まあまあ見やすい」が20%、「やや見づらい」が20%という結果でございまして、その他のデータなど、今回の結果も含めまして、導入に向けて、今後担当者間で検討を進めていくという予定となっております。

報告につきましては以上でございます。

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

ただいまの報告につきまして、何かご意見、ご質問などございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

3 その他

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

それでは全体をとおしまして、何かご意見、ご質問とか追加の説明などございましたらお願いしたいと思いますが、よろしいですか。

本日予定しております議題等につきましては以上となりますが、最後に事務局から連絡事項などありましたらお願いします。

○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

本日の会議につきまして、後ほど資料、議事録を公開させていただきますが、関係者の皆様にも確認いただきました上で公開いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

4 閉会

○青少年・治安対策本部 高野治安対策担当部長

それでは以上をもちまして、平成30年度ハイパースムーズ東京推進会議を終了させていただきます。
お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございました。